

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称		〔19〕 東京都台東区立特別養護老人ホーム千束				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム浅草・特別養護老人ホーム谷中・特別養護老人ホーム三ノ輪					
(3)経営状況	(27年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,816,804,521円,歳出2,832,987,406円,収支差額-16,182,885円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区千束3-28-13					
(2)設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3)利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者					
(4)開館日・時間	通年、24時間					
(5)規模	延べ床面積 6,733.87㎡のうち1,763.54㎡ 鉄筋コンクリート造 地上7階地下2階のうち3、4階の部分 駐車場(共用)、居室、浴室(機械浴、一般)、静養室、医務室など					
(6)人員体制	15名 内訳...施設長{特別養護老人ホーム浅草との兼務(1)}、相談員(1)、介護職員(常勤11、非常勤1)、看護職員(2)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助{食事、介護(排泄・入浴援助)}、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	38,560,900	38,632,720	36,704,820	37,508,000	38,392,144
	利用料金収入	117,852,000	129,406,000	126,223,000	125,638,000	123,305,000
	その他収入	2,485,100	2,280	2,780,180	3,332,000	1,799,856
	管理経費	158,898,000	168,041,000	165,708,000	166,478,000	163,825,000
決算	委託料	38,560,900	38,626,790	36,704,820	37,508,000	38,392,144
	利用料金収入	106,785,276	126,704,794	121,767,622	127,824,655	127,747,877
	その他収入	2,019,616	13,725,903	122,637	242,404	132,233
	管理経費	132,580,365	146,141,712	153,001,988	158,401,800	160,947,210
	収支	14,785,427	32,915,775	5,593,091	7,173,259	5,325,044
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	24年度	25年度	26年度	27年度
入所定員(ショートステイ含む)		人	31	31	31	31
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値(29年度)	25年度	26年度	27年度
利用率(特養+ショート)		%	99	94.9	99.3	98.1
利用者数(特養+ショート)		人	11,315	10,735	11,239	11,135

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

利用率はやや減少したものの高い水準を維持している。利用者満足度についても、初詣、酉の市、誕生会時の本人の希望による外出等、地域社会への積極的参加を通して、満足度を上げていく取り組みを行っている。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[-]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数等の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	職員の研修機会を増やし、全職員を対象とした「倫理・法令遵守虐待防止研修」や「玩具療法の実践報告会」等の研修プログラムを計画的に実施する等、サービス向上に努めている。
(2)施設の維持管理	A	備品管理、衛生管理等、施設の維持管理は適切に行われている。
(3)利用者の満足度	A	地域の行事に積極的に参加する等、利用者のサービス水準向上を継続して行っている。
(4)収入支出	A	収支状況は良好であり、全体的に適正に行われている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	高いサービス水準の維持、利用者満足度の向上に向けた取り組みが行われており、事業の予算執行状況も適正である。
-----------	---

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

今後も引き続き、高い利用率を維持しつつ、入居者の家族が就寝時間を除きいつでも面会できる体制の維持や、区内の中学生との交流事業である「ふれあい体験学習」等、利用者の満足度を上げる取り組みを続けていく。